

マルチコプター部門の FAQ

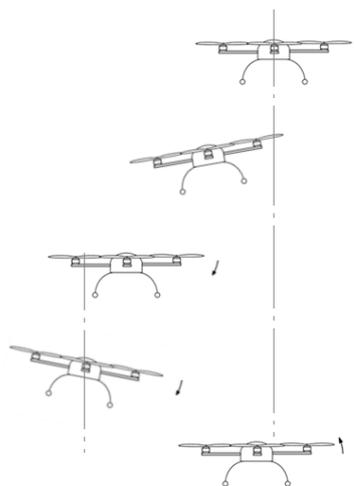
2019/06/09

このファイルでは「マルチコプター部門」の FAQ を記載します。各チームにこれだけは知っておいてもらいたいという事項をまとめたものです。参加チームの皆さんは必ず目を通してください。

なお、各チームのリーダーは、レギュレーションおよびルールに関して疑問が生じた際には、info@indoor-flight.com までメールにて質問すること。レギュレーションおよびルールについての質問は 9/19(木)12:00 をもって打ち切り、これ以降の質問は原則として受けません。

Q1. Rocking Wings についても少し詳しく説明して下さい。

- A. 飛行機の場合、翼を振る(Rocking Wings)では、エルロンを操作すると機軸を中心に機体は回転しますが、マルチコプターの場合には機体を傾けると(例えば左に傾ける)、機体は左の方向に移動します。傾ける時間が長ければ、また傾ける角度が大きければ移動量が大きくなります。その動きを止めるには反対方向に傾けますが、今度は傾けた方向に機体は移動します。すなわち、マルチコプターで Rocking Wings すると、機体は左右に移動するので、開始地点を十分に考えてマルチコプター飛行エリアをはみ出さないように注意してください。又、判定がし易いように、大きな動作を行うようにプログラムしてください。



横方向に移動するイメージ図

Q2. 機体審査の機体の保持装置(道具)について説明してください。

- A. 機体審査における保持装置は、マルチコプターの構造上機体を保持することが難しいため、

機体を横に倒して、機体上の面を壁側に向けて本体または脚部分を押しえてフル回転できれば、特別な保持装置は必要としません。ただし手で保持するのが難しい場合、機体を抑える備品を持参するようにしてください。

フルスロットル試験では、プロペラを3秒間フル回転させ、機体に損傷が及ばないこと、機体に搭載している器具が脱落しないことを確認します。

Q3. 機体は自作であることとありますが、市販の部品(キットではないもの)を選定し、組み上げたものは自作に含まれますか？

- A. 市販のマルチコプターの、例えば本体やアームなどのスペアパーツが購入できますのでそれらを組み合わせれば本体が出来上がりますが、これは許可されません。更に、自作用にも各種パーツがネットで入手でき、それらをうまく利用すれば機体本体を作ることが出来ますが、これも許可されません。機体構造は全くの自作で、金属、カーボン、グラスファイバー、プラスチック、航空ベニヤ等、材質は問いませんので、オリジナルなものを作ってください。